

嘉徳海岸の海岸浸食対策事業の見直しと検討委員会の設置を求める署名

鹿児島県知事 三反園 訓殿

趣旨

奄美大島南部の嘉徳海岸は人工物のない自然のままの美しい砂浜海岸です。この場所は国立公園に指定されており、奄美・琉球世界自然遺産候補地の至近距離に位置しています。

一昨年来襲した台風により砂が流出したとして、鹿児島県は砂浜のほぼ全部に及ぶ高さ6.5メートルの護岸を作る計画が出されています。しかし、現在は波で離散した砂が戻りつつあることから、嘉徳海岸の健全性を知ることが出来ます。

国内外の事例から見てもコンクリートの構造物を設置すると設置場所のみならず、周囲の環境にも影響が及ぶことが知られています。砂浜は浸食され、更なるコンクリート護岸や消波ブロックの投入などの果てしない連鎖が始まります。壊してしまった自然海岸を再生することは不可能です。

奄美大島においてもコンクリート構造物（海岸保全施設）が無い天然の自然海岸は貴重であり、この自然景観を維持してこそ、国立公園及び世界自然遺産としての価値があり、観光資源としての資質であることは言うまでもありません。渚の自然に負荷を与えず、今ある自然の景観を壊さないように、コンクリート土木だけではなくあらゆる方法を幅広く比較検討する必要があると考えます。

要請事項

1. 嘉徳海岸侵食対策事業における現計画案の見直しを求めます。
2. 市民参画による検討委員会の設置を求めます。

以上

奄美の森と川と海岸を守る会

〒894-0025 鹿児島県奄美市名瀬幸町25-1

<http://amamiworldheritage.org/katoku>



嘉徳海岸の海岸浸食対策事業の見直しと検討委員会の設置を求める署名

鹿児島県知事 三反園 訓殿

	名前 / Name	住所 / Address (番地までは必要ありません)
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

集約日・2017年9月15日

奄美の森と川と海岸を守る会

〒894-0025 鹿児島県奄美市名瀬幸町25-1

※いただいた署名は、鹿児島県へ提出する以外の目的では使用いたしません。

※Will not be used for purposes other than submitting to kagoshima-ken

